



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社レアジョブ 上場取引所 東
 コード番号 6096 URL https://www.rarejob.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 岳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 森田 尚希 (TEL) 03-5468-7401
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,661	27.7	369	102.1	365	112.5	233	150.4
2020年3月期第2四半期	2,083	26.9	182	895.8	172	704.8	93	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 237百万円(198.6%) 2020年3月期第2四半期 79百万円(264.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	25	85	24	71
2020年3月期第2四半期	10	22	10	04

(注) 1. 当社は、2019年4月11日開催の取締役会決議により、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2019年11月14日開催の取締役会決議により、2019年12月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 2020年3月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,996	—	1,926	—	41.8	—
2020年3月期	3,557	—	1,602	—	38.4	—

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,672百万円 2020年3月期 1,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	—	0.00	—	—	—	0.00	—	0.00	—
2021年3月期	—	—	0.00	—	—	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	0.00	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,400	19.7	640	43.3	600	44.3	370	80.3	40	93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	9,517,200株	2020年3月期	9,491,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	460,753株	2020年3月期	482,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	9,022,130株	2020年3月期2Q	9,110,367株

(注) 当社は、2019年4月11日開催の取締役会決議により、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を、2019年11月14日開催の取締役会決議により、2019年12月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開する英語関連市場においては、中長期的には、日本企業の海外展開や外国人労働者の受け入れ、訪日外国人数の増加等によるグローバル化の進展や、学校における英語教育改革等が進み、グローバル言語としての英語の重要性及び学習ニーズが高まっております。それに伴い、英語学習のニーズは、単に趣味として英語を話して楽しく過ごすことではなく、「英語が話せるようになる」という「成果」を重視するトレンドに変化しております。また、英語関連市場と関わりの深い人材研修市場や人材採用市場においては、グローバルに活躍するために必要なスキルの獲得ニーズの高まりや、グローバルに活躍できる人材需要の増加、人材流動性の上昇が起こっております。

しかしながら、当第2四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症が引き続き世界的に流行し、その感染拡大を防止するために各種活動の自粛・制限がなされ、グローバル化の進展や労働市場の変化が減速及び停滞しております。

その一方で、テレワークの普及等による在宅での余暇時間の増加や、新型コロナウイルス感染症の終息後を見据えて、英語学習ニーズは底堅く推移しております。

このような環境の中、当社グループでは、従来の英会話の場を提供する低価格のオンライン英会話サービスの提供だけでなく、「英語が話せるようになる」という「成果」を生み出す高付加価値な英語関連サービスを展開するため、継続してサービス拡大や品質向上に取り組んでおります。また、外国語のコミュニケーション能力を表す指標・国際標準規格のCEFRに準拠した英語のスピーキング力を測定するシステム「PROGOS」の開発を行い、サービス提供を開始しております。

更に、当社グループでは世界中の人々が国境や言語の壁を越えて活躍できる社会の創造を目指すため、英語関連事業の展開のみならず、グローバルリーダー育成及びキャリア関連への事業拡大や、事業の海外展開を目指し、取り組みを進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、個人向けサービスについてはマーケティング活動の強化および新型コロナウイルス感染症拡大による在宅での余暇時間の増加と英会話学習ニーズの高まりにより、会員数が前年同期比で増加しており、売上高も増収となりました。また、法人・教育機関向けサービスにおいても、新型コロナウイルス感染症の流行下におけるオンラインでの英語学習ニーズは底堅く、売上高も堅調に推移しております。売上原価は、会員数の増加や一人当たりのレッスン受講率の上昇により前年同期比で増加しておりますが、売上高の増収に伴い、売上総利益も増益となりました。また販売費及び一般管理費については、生産性向上や事業効率化によりコスト効率化を進めた結果、増加は抑制され、収益性が向上しております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は2,661,142千円と前年同期比577,833千円(27.7%)の増収、営業利益は369,212千円と前年同期比186,480千円(102.1%)の増益、経常利益は365,791千円と前年同期比193,676千円(112.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は233,249千円と前年同期比140,101千円(150.4%)の増益となりました。

なお、当社グループは英語関連事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ438,262千円増加し、3,996,120千円となりました。これは主に、売掛金が233,261千円減少したものの、現金及び預金が521,168千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比べ114,248千円増加し、2,069,870千円となりました。これは主に、前受金が86,387千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ324,013千円増加し、1,926,249千円となりました。これは主に、利益剰余金が233,249千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月14日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,153,486	2,674,654
預け金	13,267	14,150
売掛金	456,262	223,000
前払費用	42,344	82,001
デリバティブ債権	6,214	16,717
その他	26,611	31,565
流動資産合計	2,698,187	3,042,090
固定資産		
有形固定資産		
建物	126,314	131,999
減価償却累計額	△47,684	△53,360
建物(純額)	78,629	78,638
工具、器具及び備品	141,690	162,963
減価償却累計額	△100,498	△111,512
工具、器具及び備品(純額)	41,191	51,451
車両運搬具	2,363	2,374
減価償却累計額	△1,339	△1,583
車両運搬具(純額)	1,024	791
使用権資産	139,804	133,874
減価償却累計額	△36,364	△40,804
減損損失累計額	△26,912	△25,664
使用権資産(純額)	76,527	67,405
その他	—	23,980
有形固定資産合計	197,372	222,267
無形固定資産		
商標権	2,591	2,666
ソフトウェア	347,369	354,566
ソフトウェア仮勘定	56,159	115,797
のれん	83,013	76,864
その他	563	—
無形固定資産合計	489,696	549,894
投資その他の資産		
投資有価証券	12,027	11,475
敷金	113,724	111,959
繰延税金資産	46,139	43,047
その他	710	15,385
投資その他の資産合計	172,601	181,868
固定資産合計	859,670	954,030
資産合計	3,557,857	3,996,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	280,000	30,000
リース債務	45,999	44,949
未払金	152,296	132,632
未払費用	213,126	255,201
未払法人税等	145,548	145,098
未払消費税等	117,100	108,037
前受金	118,897	205,284
預り金	31,133	24,178
賞与引当金	48,506	49,664
その他	21,924	20,054
流動負債合計	1,174,532	1,015,102
固定負債		
長期借入金	690,000	975,000
退職給付に係る負債	26,313	28,600
リース債務	60,893	46,502
資産除去債務	2,432	2,704
繰延税金負債	131	1,022
その他	1,318	938
固定負債合計	781,089	1,054,768
負債合計	1,955,621	2,069,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	572,571	578,591
資本剰余金	569,258	614,584
利益剰余金	524,937	758,186
自己株式	△303,295	△289,853
株主資本合計	1,363,470	1,661,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,137	△1,188
繰延ヘッジ損益	4,311	11,598
為替換算調整勘定	4,551	6,229
退職給付に係る調整累計額	△6,449	△5,868
その他の包括利益累計額合計	1,276	10,771
新株予約権	55,737	77,060
非支配株主持分	181,750	176,909
純資産合計	1,602,235	1,926,249
負債純資産合計	3,557,857	3,996,120

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	2,083,308	2,661,142
売上原価	809,204	1,098,320
売上総利益	1,274,103	1,562,821
販売費及び一般管理費	1,091,371	1,193,609
営業利益	182,731	369,212
営業外収益		
受取利息	66	68
補助金収入	—	6,782
その他	1,243	2,097
営業外収益合計	1,309	8,948
営業外費用		
支払利息	3,302	4,483
為替差損	5,029	6,957
持分法による投資損失	1,246	479
その他	2,348	449
営業外費用合計	11,926	12,369
経常利益	172,114	365,791
特別利益		
固定資産売却益	194	111
新株予約権戻入益	1,918	—
特別利益合計	2,112	111
特別損失		
固定資産売却損	689	—
固定資産除却損	—	563
特別損失合計	689	563
税金等調整前四半期純利益	173,537	365,339
法人税、住民税及び事業税	84,229	136,339
法人税等調整額	6,369	592
法人税等合計	90,599	136,932
四半期純利益	82,938	228,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	△10,209	△4,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,148	233,249

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	82,938	228,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	△50
繰延ヘッジ損益	△2,699	7,286
為替換算調整勘定	△220	1,678
退職給付に係る調整額	△168	580
その他の包括利益合計	△3,265	9,495
四半期包括利益	79,673	237,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,886	242,519
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,213	△4,617

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	173,537	365,339
減価償却費	102,001	113,541
株式報酬費用	22,564	29,377
のれん償却額	6,149	6,149
持分法による投資損益(△は益)	1,246	479
新株予約権戻入益	△1,918	—
受取利息	△66	△68
支払利息	3,302	4,483
固定資産売却損益(△は益)	494	△111
固定資産除却損	—	563
売上債権の増減額(△は増加)	△56,517	233,261
前払費用の増減額(△は増加)	△11,033	7,056
未払金の増減額(△は減少)	△24,124	△20,776
未払費用の増減額(△は減少)	7,051	42,075
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,170	△9,062
前受金の増減額(△は減少)	55,400	86,387
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,443	1,157
その他の資産の増減額(△は増加)	△64,880	△22,447
その他の負債の増減額(△は減少)	66,523	△11,364
その他	2,423	1,281
小計	261,541	827,323
利息の受取額	66	68
利息の支払額	△3,302	△4,501
法人税等の支払額	△59,190	△132,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,114	690,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,967	—
有形固定資産の取得による支出	△8,753	△48,044
有形固定資産の売却による収入	4,903	1,054
無形固定資産の取得による支出	△87,154	△136,878
敷金及び保証金の差入による支出	△759	△1,085
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	14,385	—
その他	486	1,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,859	△183,307

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△65,000	△265,000
自己株式の取得による支出	△183,648	—
リース債務の返済による支出	△23,493	△31,246
非支配株主からの払込みによる収入	152,133	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	43,901	—
ストックオプションの行使による収入	1,997	10,038
その他	15	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,093	13,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,272	747
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,889	522,050
現金及び現金同等物の期首残高	1,317,408	2,166,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,359,298	2,688,804

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「英語関連事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響等を含む仮定に重要な変更はありません。なお、当期の連結業績予想については2020年10月14日に上方修正しておりますが、この修正による当第2四半期連結累計期間の会計上の見積りへの影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。